

横山幸次

区政報告
ニュース

573

2015年5月17日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターを
ご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

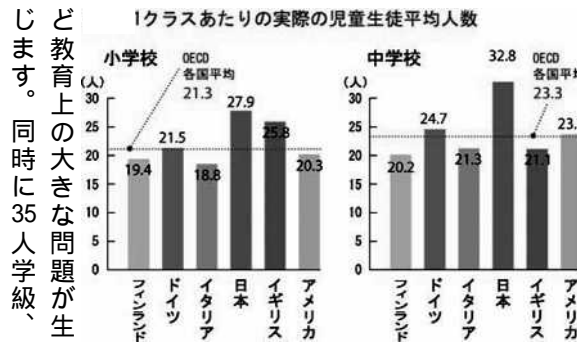
新年度 小中学校の児童、生徒数と学級規模 学校は 学校選択制や特別教室のあり方は…!?

町屋地域の小中学校児童、生徒数、学級数...

小学校		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
四峡小	児童数	69	52	59	52	59	66	357
	学級数	2	2	2	2	2	2	12
	30人学級になった場合	3	2	2	2	2	3	14
五峡小	児童数	86	94	90	65	69	57	461
	学級数	3	3	3	2	2	2	15
	30人学級になった場合	3	4	3	3	3	2	18
七峡小	児童数	69	49	52	53	51	51	325
	学級数	2	2	2	2	2	2	12
	30人学級になった場合	3	2	2	2	2	2	13
大門小	児童数	29	33	18	33	35	34	182
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
	30人学級になった場合	1	2	1	2	2	2	10
区内全小学校合計	児童数	1,495	1,449	1,384	1,316	1,356	1,344	8,344
	学級数	50	49	46	44	43	46	278
	30人学級になった場合	60	58	56	56	58	56	344

中学校		1年	2年	3年	合計
五中	生徒数	88	84	72	244
	学級数	3	3	2	8
	30人学級になった場合	3	3	3	9
原中	生徒数	147	133	151	431
	学級数	5	4	4	13
	30人学級になった場合	5	5	6	16
区内全中学校合計	生徒数	1,083	1,056	1,102	3,241
	学級数	37	34	33	104
	30人学級になった場合	40	41	44	125

少人数学級への移行を見越した教育環境整備が大きな課題です。今年度の小学校入学者数は、1,495人で前年比46人増。町屋地域は、四峡19人、五峡10人、七峡21人合計50名増加。大門小は3人減。全学年でも、全区で135人増で8,423人。区域外就学者数は、252人（16・8%）昨年比59人減。中学校の新生は1,082人で前年比30人増。町屋地域では、原中14人、五中3人増加。全区的には、3,286人で昨年より13名増ですが学級は2増。区域外通学は255人（23・5%）で32人増。毎年増減は、学校選択制によるもので教育の課題も見えてきます。学校選択制によって次年度の学校規模が定まらない児童生徒が増加した場合、普通教室に不足が生じ特別教室などを転用する特別教室の教育的役割が損なわれるなど、20人学級規模が標準です。少人数学級が学力向上や不登校の減少など大きな効果が実証されています。少人数学級編成を前提にした教育環境整備と学校選択制の見直しが必要ではないでしょうか。みなさんのご意見をお寄せください。



旧町屋保育園の解体工事ははじまっています。安全対策とともに地域に親しまれた樹木の保全も視野に。旧町屋保育園の解体工事について、区議選中に住民説明会がありました。選挙後住民のみなさんから、「狭い道路に大型トラックが心配」「桜やレモンの木を残せないか」などの声が寄せられています。実際、狭い生活道路で囲まれており、大型トラックの進入は無理があるように感じます。区の担当課長の話しでは、車両や進入経路の変更も考えとのこと。樹木は、保育園の歴史の中で周辺住民のみなさんに親しまれてきました。敷地内のレモンの木は知る人ぞ知る「名木」のようです。この木は植え替えて保存するようですが、再び里帰り出来るよう配慮してほしいと願っています。横山幸次



裏面 女子医大東医療センター問題、地域の話など

定例法律相談会
6月1日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

女子医大東医療センターの 移転問題に新たな動きが

東京都と足立区が覚書を締結…

4月28日、女子医大理事
会と足立区が「東医療セン
ター移転に関する覚書」を
締結しました。

この覚書では、足立区が
移転予定地を東京都から2
017年を目途に取得する
よう本格的に動き出すこと
その用地を女子医大に貸
し出すことを明らかにしま
した。

さらに移転問題の具体的
な協議が進んだ時点で次の
「建設及び運営に関する覚
書」を結び、そのうえで
「基本協定書」を締結する
としてい

ます。病床数や医療機能な
ど足立区の要望や助成の内
容については、基本協定で
明らかにするようです。

荒川区にとっての役割をふまえた協議を

女子医大東医療センター
は、地域の拠点病院として
もまた夜間の子ども救急医
療などで果たしている役割
はとて大切で。また、
区内で出産が出来るのは、
加藤産院（町屋）と女子医
大だけです。また女子医大
東医療センターで働く多く
の看護師、職員などのみな

また、最
終的に移転
が不可能と
なった場合
は、協定の
解除もたつ
ています。



女子医大東医療センターの概要

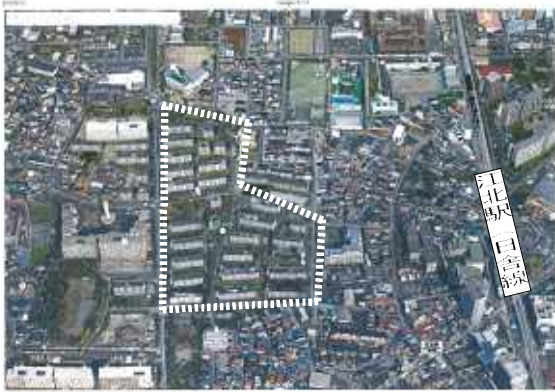
患者 通院 1,500人/日 急患 60人/日 小児夜間等30人/日
入院 420人/日 出産560人/年

職員 医師 266人 看護師等520人 薬剤師・技師86人
事務等127人 その他110人 合計1,120人以上

〔覚書〕

移転想定地は…
現在想定されている場所は、足立区江北4丁目の
都営上沼田団地（約60棟 下写真の網線囲い部分）
とされています。すでに、建替えて住民は、移転済
みのようです。

日暮里舎人線熊野前駅から4つ目（230円）江北
駅から歩いて3～4分位の場所です。



地域点描…

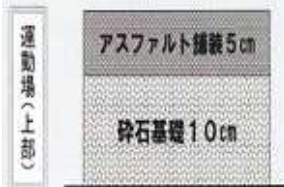
東尾久運動場のダイオキシン対策 アスファルト被覆工事がはじまります

尾久の原公園ダイオキシン工事が進行中ですが、今後東尾久運動場の工事をはじめます。

工事期間 5月中旬～7月下旬（予定）

工事の内容は、アスファルトで表面を覆う被覆工事となります。

おそらく、運動場
自体は使用しながら
の工事になると思い
ます。十分な安全対
策も合わせて求めたい
と思います。



尾久の原公園ダイオキシン対策工事も急ピッチ

尾久の原公園ダイオキシン類工事は、覆土
で閉じこめる工法ですが工事現場を見るとや
はり大がかりです。子ども達が遊ぶ「ジャブ
ジャブ池」あたりを見ると嵩上げするための
コンクリートの縁がつくられていました。安全
性を第一に、早く子ども達が遊ぶ姿が見たい
ものです。

